

開講年次・時期	1年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC210	科目名	名曲概論	担当者名	笹森 誠
授業の概要	明治期から平成期までに誕生した歌で、多くの人々が知っている作品を年代順に取り上げ、その歌にまつわるエピソードを学び、詞の内容と音楽を味わう。取り扱う音楽ジャンルは、その時々流行った、伝承歌、唱歌、童謡、歌謡曲が中心となる。				
科目の到達目標	その時々流行った歌を通して、その時代や文化が理解できる。学んだ知識は、高齢者とのコミュニケーション・ツールの一つとして活用できる。				
DPの観点	⑥幅広い教養、⑦主体性				
授業時間外学修(予習・復習)	授業を通して学んだ各作品のポイントに関して、復習を30分程度行い、その内容を理解し覚えておくこと。				
フィードバックの方法	授業最終日に、概説的なことは全体に、詳細は個別に対応する。				
単位認定の要件	期末のまとめでは、授業で学んだ作品のポイントの理解度を確認するので、授業内活動と合わせて合格点を取ることに。				
評価の方法・割合(%)	作品のポイントの理解度80%、授業内活動(ワークシートや発表)20%				
履修上の注意事項	・音楽療法関連科目履修証明書を希望する者は必ず履修すること。 ・配布資料が多いので、50ポケット程度のファイルを用意すること。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			時代の流れの概略と音楽取調掛設立周辺の音楽状況を知る。	⑥	ワークシート
2			明治10年代～30年代の歌の詞や背景を理解し音楽を味わう。	⑥	ワークシート
3			明治30年代～40年代の歌の詞や背景を理解し音楽を味わう。	⑥	ワークシート
4			大正期前半の歌の詞や背景を理解し音楽を味わう。	⑥	ワークシート
5			大正期後半の歌の詞や背景を理解し音楽を味わう。	⑥	ワークシート
6			昭和元年～11年までの歌の詞や背景を理解し音楽を味わう。	⑥	ワークシート
7			昭和11年～20年までの歌の詞や背景を理解し音楽を味わう。	⑥	ワークシート
8			各自が選んだ作品について発表する。	⑦	ワークシート
9			各自が選んだ作品について発表する。	⑦	ワークシート
10			昭和21年～24年までの歌の詞や背景を理解し音楽を味わう。	⑥	ワークシート
11			昭和25年～34年までの歌の詞や背景を理解し音楽を味わう。	⑥	ワークシート
12			昭和35年～43年までの歌の詞や背景を理解し音楽を味わう。	⑥	ワークシート
13			昭和45年～平成期までの歌の詞や背景を理解し音楽を味わう。	⑥	ワークシート
14			これまでの復習。	⑥	ワークシート
15			ポイント理解の確認とフィードバック	⑥	ポイントのまとめ
期末試験					

使用テキスト	『思い出の童謡・唱歌200』(編集:成美堂編集部、出版:成美堂出版)
参考文献 参考URL	『唱歌・童謡100の真実』(著者:竹内貴久雄、出版:YMM)、『歌でつづる20世紀』(著者:長田暁二、出版:YMM) 『流行歌20世紀』(編著者:長田暁二、発行:全音楽譜出版社)、他
備考	

10の観点	①判断力②専門知識・技能③意欲・継続力④協働力⑤コミュニケーション能力⑥幅広い教養⑦主体性⑧社会性⑨情報活用能力⑩論理的思考力
-------	---

授業の自己評価	
---------	--